

イント制度の実施状況によると、累計のポイント申請受付状況は、新築3万8884戸（7月単月は1万7163戸）、既存2万722戸（同104戸）、リフォーム2万6167戸（同1万1398戸）、賃貸1611戸（同987戸）の合計6万6934戸（同2万9652戸）となった。7月単月では全体で3万戸に迫る申請状況となり、6月末までの累計から大きく増加した。

月は6億1400万ポ・1万6150戸）、既存3060万ポ・103戸（同2190万ポ・74戸）、リフォーム8億6161・6万ポ・8959戸（同7億2075・5万ポ・7541戸）、賃貸1890万ポ・189戸（同1890万ポ・189戸）の合計99億531・6万ポ・3万2187戸（同69億7555・5万ポ・2万3954戸）となった。

「プラットフォーム」において、全国56都市（面積約1万平方メートル、建物約1000万棟）の3D都市モデルのオープンデータ化を完了した。官民の多様な領域でデータ活用によるオープンイノベーションが可能となり、まちづくり、防災、カーボンニュートラルなど社会課題の解決に貢献していく。

「プラットフォーム」では、現実の都市をサイバー空間に再現する3D都市モデルの整備・活

用拡大対応し、今回すべてが完了。社会基盤情報流通推進協議会が運用する「G空間情報センター」(https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/plateau)のデータワンロードが可能となった。「プラットフォーム」のオープンデータには政府標準利用規約等のオープンライセンスが採用されており、クレジット表記を行うことで、データの複製、再配布、加工、商用利用等が

で勝負していく。同社が新卒採用を開始した10（平成22）年の入社。これまで一貫して物件の仕入れを担当し、特に東京・城北エリアで実績を重ねてきた。すぐ近くで成長を見守ってきた同社の舟越社長いわく「バランスの取れた人材。人当たりが柔らかで取引先からも信頼され、部下からも慕われている。仕事で大切にしているのは「朝の時間」。早く出社し、他社よりも早く動き出せるように心掛けている。「新店舗はオープンしたばかりでまずは準備段階だが、早く軌道に乗せ、メンバー4人で年間80件の仕入れを達成したい」。

て公開している。今後は、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステム構築に向けて、効率的なデータ整備手法の確立やデータ仕様の拡張に取り組み。更に、3D都市モデルの豊富なデータを生かした都市スケールの太陽光発電ポテンシャル推計等のシミュレーション開発など、先進的なユースケースの開発に取り組みと共に、地方公共団体によ

性、都市OS、推しについて課題共有を目指す。8月3日の第1では、事務局から公表された「スマセキュリティガ（第2・0版）」の行われたほか、更市クラスでの取の担当者が発表し、今後は10月上旬

ひと

リノベM、質で差別化

8月1日にオープンした未来都市開発「西東京店」店長 坂田智哉さん



中古マンションを1戸単位で仕入れ、改修工事を施した上で再販するリノベーションマンション事業が主力の未来都市開発。これまで東京都心部を中心に事業展開してきたが、創業21年目を迎え、エリア拡大に踏み出す。その第一歩として

が、「リノベーションマンションのニーズがあることは実感している。スピード感を重視して進めていきたい」。

新型コロナウイルス

「プラットフォーム」では、現実の都市をサイバー空間に再現する3D都市モデルの整備・活

「プラットフォーム」のオープンデータには政府標準利用規約等のオープンライセンスが採用されており、クレジット表記を行うことで、データの複製、再配布、加工、商用利用等が

提案した。耐震改とする性能向上改あるマンションに期的な計画に基づの提案や、住みな対策等工事についン固有の条件に配工程計画や合意形見られる点など。また、「工事文

団地建て替えなど5事業

「マンション長寿命化」で採択

国土交通省

国土交通省は「マンションストック長寿命化等モデル事業」について、21年度（第1回）のモデル事業として5件を採択した。20年度に始まった同事業は、マンションの再生に向けて具体的な課題解決を図るモデル的なプロジェクトを支援し、その成果の全国展開を図るためのもの。適正な維持管理を促進し、長寿命化に寄与する改修や建て替えを促進する狙いだ。

今回の募集では、5件（5者）の応募があり、専門家で構成する評価委員会の評価結果を踏まえ、「計画支援型2件」、「工事支援型」3件を採

技術開発3件 住宅建築の生

また、「工事支援型」のうち、2件は「長寿命化改修工事」で、どちらも施工業者が

また、「工事文